

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
歴代表彰者一覧

2006年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞 表彰者 (2006年9月16日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	野口美和子	1996年～ 正会員
	兼松百合子	1996年～ 正会員
	川田智恵子	1996年～ 正会員

2007年度 日本糖尿病教育・看護学会 フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2007年9月15日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
フロンティア賞	河口てる子	1996年10月13日～ 正会員 理事長:2000年4月1日～20年3月31日 第2回日本糖尿病教育・看護学会学術集会会長 「看護師の活動機会拡大のためのシステム構築」「看護師にパワーを」を目標に、糖尿病教育を行っている看護師の活躍の機会を拡大し、能力を開発するためのシステム構築
	阿部邦子	2002年7月27日～ 正会員 「フットケア・靴の改善・促進」 看護が主導してフットケアに取り組み、靴店ともタイアップしてケアの質向上に貢献。「糖尿病患者のフットケア」の第一人者
奨励賞	森加苗愛	1998年8月8日～ 正会員 糖尿病看護認定看護師 認定看護師委員会委員:平成14～16年 「網膜症教材:めだまんずの開発と商品化」「糖尿病性網膜症の眼球模型(めだまんず)」を開発し特許取得。企業と提携し製品の制作・販売
	魚里明子	2000年9月22日～ 正会員 慢性疾患看護専門看護師 「看護職の独立開業の試み」 NPO法人健康サロンくつろぎ開業、地域に密着した生活習慣病予防のための取り組み

2008年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2008年9月6日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	佐藤昭枝	1996年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の立ち上げに尽力し、第2回学術集会では学術集会会長を務める。 1996年度から現在に至るまで本学会の理事を務め、長きにわたり本学会の発展に貢献している。
	渡辺鈴子	2000年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の大分県のネットワーク委員として大分県糖尿病療養指導士のレベルの維持・向上に貢献している。 また、九州・沖縄ブロック委員としても活躍しており、地域における糖尿病看護の発展に長きにわたり貢献している。
フロンティア賞	瀬戸奈津子	1997年～ 正会員 糖尿病看護認定看護師の育成とその活動を広く支える。 また、2008年度の診療報酬改定において糖尿病合併症管理料の獲得に向け糖尿病看護認定看護師の実践をアウトカムとして示すことに尽力した。 2008年度からは広報委員会担当理事を務め、本学会の活動を支えるとともに糖尿病看護の発展に大きく貢献している。
	森小律恵	1996年～ 正会員 糖尿病看護認定看護師として、また日本糖尿病教育・看護学会研修推進委員会のメンバーとして当学会主催の研修会の企画・運営に携わり、学会員へ質の高い学習機会の提供に尽力した。 2008年度からは会計理事を務め、本学会の活動に大きく貢献している。
奨励賞	下村裕子	1996年～ 正会員 2000年度から8年間にわたり日本糖尿病教育・看護学会の理事として当学会の活動を支え、特にホームページの開設から維持・管理システムの構築に尽力した。 2008年度からは広報委員会のメンバーとして、引き続き広報活動に貢献しており、今後の活動が期待される。
	肥後直子	2001年～ 正会員 糖尿病看護認定看護師として、また日本糖尿病教育・看護学会研修推進委員会のメンバーとして、当学会主催の研修会の企画・運営に携わり、学会員へ質の高い学習機会の提供に尽力した。 地域における糖尿病看護のレベルの維持・向上にも貢献しており、今後の活動が期待される。

**一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
歴代表彰者一覧**

2009年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2009年9月20日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	川口洋子	1996年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の北海道ネットワーク委員として、北海道糖尿病療養指導士のレベル維持・向上に貢献した。また北海道糖尿病看護研究会を設立し、長きに亘り地域における糖尿病看護の質の向上と発展に大きく貢献している。第14回学術集会上では学術集會会長を務める。
	加藤愛子	1996年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の福岡県のネットワーク委員として福岡県糖尿病療養指導士のレベルの維持・向上に貢献した。また長きに亘り九州・沖縄ブロック委員としてリーダーシップを発揮し、地域における糖尿病看護の発展に大きく貢献した。
フロンティア賞	米田昭子	1999年～ 正会員 2008年度から看護研修会認定委員会担当理事を務め、本学会の活動に大きく貢献している。また特別委員会の委員として、当学会主催の糖尿病重症化予防(フットケア)研修会の企画・運営に携わり、学会員へ質の高い学習機会の提供に尽力された。また慢性疾患看護専門看護師として、広く糖尿病看護の発展に貢献されその活躍はめざましい。
奨励賞	添田百合子	1999年～ 正会員 慢性疾患看護専門看護師として、日本糖尿病教育・看護学会主催の糖尿病重症化予防(フットケア)研修会をはじめ、学会員に質の高い学習機会の提供に尽力された。また広く糖尿病看護の発展に寄与され今後の活躍が期待される。
	曾根晶子	2000年～ 正会員 慢性疾患看護専門看護師として、糖尿病合併症重症化予防(フットケア)における記録用紙の作成、また日本糖尿病教育・看護学会主催の研修会の企画・運営に携わり、学会員への質の高い学習機会に尽力した。今後の活動が期待される。
	大倉瑞代	2004年～ 正会員 糖尿病看護認定看護師として、また日本糖尿病教育・看護学会研修推進委員会のメンバーとして、当学会主催の研修会の企画・運営に携わり、学会員へ質の高い学習機会の提供に尽力した。糖尿病合併症重症化予防(フットケア)における記録用紙の作成に寄与され今後の活動が期待される。

2010年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2010年10月10日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	河口てる子	1996年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の設立ならびに創世記の学会運営体制の確立に尽力し、第1期は副理事長と庶務理事、第2期から2期にわたり理事長を務め学会の発展に大きく貢献した。また糖尿病看護認定看護師の認定、日本糖尿病療養指導士認定機構の制度の確立に尽力し貢献した。常に広い視野を持ち、秀逸なる指導力で糖尿病看護の発展に大きく貢献している。
	安酸史子	1996年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会設立時から初代理事として学会の発展に尽力され、編集担当理事・編集委員長、第10回学術集會会長を務め学会の発展に貢献した。また福岡県立大学看護実践教育センターに糖尿病看護認定看護師教育課程を設立し、糖尿病看護認定看護師の育成に尽力している。患者教育論、自己効力理論の活用を広め看護師の質の向上、実践能力向上に貢献している。
フロンティア賞	任 和子	1996年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の看護研修推進委員会担当理事として、研修会を通じて糖尿病看護の新しい知見を広め質の向上に貢献した。また特別委員会の担当理事・委員長として糖尿病重症化予防(フットケア)研修会の企画・運営に尽力し、糖尿病看護におけるフットケアの質の向上および診療報酬算定における糖尿病看護の評価において貢献している。
奨励賞	松永京子	2000年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会のネットワーク委員会委員として活躍し、糖尿病重症化予防(フットケア)研修会の企画・運営やファシリテーターのマニュアル作成に貢献し、学会員に質の高い学習機会を提供することに尽力した。また九州地方の糖尿病看護の充実レベルの向上に貢献し、今後の活動が期待される。
	水野美華	1998年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の編集委員会委員、広報委員会委員として活躍し本学会発展に貢献した。また東海地区の糖尿病看護認定看護師会の立ち上げに貢献し、優れたリーダーシップのもと、地域の糖尿病看護の質の向上に貢献している。今後の活動が期待される。
	岡崎優子	2001年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の研修推進委員会委員として、会員への質の高い学習機会の提供に尽力した。また糖尿病重症化予防(フットケア)研修会では企画・運営に携わり、糖尿病看護におけるフットケアの質の向上に貢献した。今後の活動が期待される。

**一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
歴代表彰者一覧**

2011年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2011年9月24日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	堀口ハル子	1996年～ 正会員 日本糖尿病教育・看護学会の設立時から会員であり、長年評議員も務められ、地域のコメディカルや医師と協働して糖尿病患者のケアの質の向上に貢献した。特に、西東京地域の糖尿病看護ネットワークづくりの中核的役割を担い、所属施設では、次世代の糖尿病看護に携わるスタッフの育成に労力を惜しむことなく支援され、糖尿病看護の発展に大きく貢献した。
フロンティア賞	数間恵子	2002年～ 正会員 大学での看護学の研究と臨床の場をつなぐ活動を長きにわたり継続してきた。2008年の診療報酬改定では、糖尿病合併症管理料の獲得に向け、自らの看護外来における「療養指導料」に関する実践データおよび会員の有するデータをまとめ、特別委員会委員としてリーダーシップを発揮して申請活動に貢献した。第15回学術集会では学術集会会長を務め、さらに現在は副理事長として、本学会および糖尿病看護の発展に大きく貢献した。
奨励賞	青木美智子	2000年～ 正会員 2006年から特別委員会「糖尿病に強い看護師育成支援委員会」の委員として、研修プログラムの作成および研修事業引き受け施設に対するフォローアップに尽力した。2008年、本事業が政策委員会に引き継がれた後も継続してその中核的役割を担いその発展に貢献している。また、本学会の会員への研修会の企画・運営等、糖尿病看護認定看護師として幅広く活躍され、本学会および糖尿病看護の発展に寄与した。
	市川より子	1998年～ 正会員 本学会の被災地域県のネットワーク委員として、東日本大震災の際には被災地からの糖尿病患者を受け入れて看護に尽力するとともに、福島県糖尿病療養指導士会相双支部の被災状況および各支部の会員の状況を調査して課題を明確化するなど、被災地域の災害時の糖尿病看護に多大な貢献をした。
	佐々木幸子	1998年～ 正会員 本学会の被災地域県のネットワーク委員として、東日本大震災後、インスリン製剤の入手等の相談窓口となり、周辺地域の看護師への情報提供および被災地の糖尿病患者やご家族の状況を積極的に情報発信するなど、被災地域の災害時の糖尿病看護に多大な貢献をした。
	星野ゆかり	2000年～ 正会員 本学会の被災地域県のネットワーク委員として、東日本大震災の際には所属施設を活用し、糖尿病患者の看護に多大なるを尽力した。また、震災後3ヵ月後に糖尿病看護研究会を開催し、関連施設や関係職種と共に震災後の活動を共有し合うなど、被災地域の災害時の糖尿病看護に多大な貢献をした。
2011年 日本糖尿病教育・看護学会 表彰論文賞 (2011年9月24日)		
第1巻第1号～第14巻第2号の原著論文39本から審査		
賞の種類	巻号・受賞者指名	タイトル
表彰論文賞	第5巻第2号・松田悦子、他	2型糖尿病患者の食事自己管理に対する自己効力と結果予期
	第6巻第2号・二宮啓子	思春期の糖尿病患児と親の療養生活に対する認識の相違が血糖コントロールに及ぼす影響
	第7巻第2号・米田昭子	2型糖尿病患者の身体の感覚に働きかけるケアモデルの開発
	第11巻第2号・瀬戸奈津子	糖尿病看護における実践能力育成のための評価指標の開発(1)

**一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
歴代表彰者一覧**

2012年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2012年9月29日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	金木恵子	1996年～ 正会員 本学会の設立時から評議員、ネットワーク委員として活動し、特に関東地区の研修会やネットワーク作りにも多大な貢献をした。また糖尿病教育入院クリニカルパスの作成や教育入院システム構築等の先駆的な実践活動は、その後の糖尿病看護の発展につながった。これら長年の糖尿病看護に取り組む姿勢は高く評価されるものである。
	小林貴子	1996年～ 正会員 本学会の設立時から継続して多くの委員会活動に参画し、学会の発展に貢献をした。特に研修推進委員会における活動では、学会員の研修の機会の拡充に努め、新しい課題を提案するなど研修会の企画運営に尽力した。これらの先駆的活動は、本学会および糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。
フロンティア賞	清水安子	1996年～ 正会員 本学会の設立時から継続して委員会活動に参画し、学会初の書籍「糖尿病看護フットケア技術」の編集など学会の発展に貢献をした。特に2008年からは編集委員会委員長として、学会誌発行事業に勢力的に取り組む、糖尿病看護の学術的な向上および今後の発展を支える体制を整備した。これらの先駆的活動は、本学会および糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。
	菊原(旧姓杉原)伸子	2005年～ 正会員 本学会の研修推進委員として、研修会の企画運営において中心的な役割を果たし、会員への質の高い研修の提供に貢献した。特に糖尿病重症化予防(フットケア)研修では、プログラム作成から研修会企画運営等に重要な役割を果たし、研修会のファシリテーターモデルとしての活躍において多大な貢献をした。
奨励賞	柴山大賀	2003年～ 正会員 本学会の編集委員会、政策委員会などの委員として積極的な活動を継続した。特に2008年度の「糖尿病合併症管理料」では評価獲得において、海外文献を提供し、2012年度の「糖尿病透析予防指導管理料」では医療技術評価提案書作成、厚生労働省ヒアリングの対応や情報収集など評価獲得に至る過程で重要な役割を果たし、糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。
	原田和子	2004年～ 正会員 本学会のネットワーク委員会委員として、特に九州地区の研修会企画や運営等を行い、会員の糖尿病看護の質の向上に尽力した。また糖尿病重症化予防(フットケア)研修会や糖尿病看護認定看護師教育課程の講師を務め、九州地区の糖尿病看護におけるリーダーとして活躍し、糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。
	由浪有希子	2004年～ 正会員 本学会の政策委員会委員として活躍し、企画運営を担当した「糖尿病に強い看護師育成研修」においては、全国の活動との統合や調整を進め、その質的向上や発展に貢献した。また東北地方の看護職を対象に研究会活動を推進し、糖尿病看護の発展に多大な貢献をした。

2012年 日本糖尿病教育・看護学会 感謝状授与 (授与年月日 2012年9月29日)	
氏名	理由
博多歩 様	本学会のロゴマークを作成した。本学会の理念や活動がそのデザインの中に適確に表現されている。本ロゴマークは本学会の象徴として、今後活用されることとなるため、その功績を称え感謝の意を表した。

2013年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2013年9月22日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	嶋森好子	1996年～ 正会員 本学会の設立当初から学会運営に携わり、特に第4期理事長就任後は、本学会の一般社団法人化および運営体制の整備に多大なる貢献をした。また、糖尿病看護領域における看護技術の診療報酬評価に向けた動きかけ、および医療安全に対する推進活動は、その後の糖尿病看護の発展に寄与するものとなった。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
	正木治恵	1996年～ 正会員 本学会の設立時から理事を4期務め、本学会の発展に多大なる貢献をした。特に認定看護師委員会の担当理事として、糖尿病看護認定看護師の育成に尽力したことや糖尿病看護に関する診療報酬評価に向けた活動は、看護の質の向上およびその役割を示すものとなった。また、研究推進委員会の委員長として、政策提言に向けた研究活動において多大なる貢献をした。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
フロンティア賞	黒田久美子	1996年～ 正会員 本学会の政策委員として、糖尿病看護に関する診療報酬評価に向けた活動を精力的に行うとともに、「専門分野(がん・糖尿病)における臨床実践能力の高い看護師の育成強化推進事業」において、施設担当者交流会の開催を通して研修の役割や内容について検討を重ね、本事業の発展に多大なる貢献をした。また、本学会の研究助成事業においては、幅広い視点から研究の有効性について説き、本事業の発展に貢献した。
奨励賞	「災害時の糖尿病看護マニュアル」作成ワーキンググループ	本学会のネットワーク委員会の命を受け、「災害時の糖尿病看護マニュアル」作成ワーキンググループとして「災害時の糖尿病看護マニュアル」を作成し、糖尿病看護の質の向上に尽力した。 本活動は、今後の糖尿病看護の発展に大きく寄与するものである。 ●「災害時の糖尿病看護マニュアル」作成ワーキンググループメンバー (五十音順) 金子貴美江(メンバー代表) 菊原伸子 西郷和枝 竹山聡美 市来祐里恵 柏崎純子 中原美穂 土方ふじ子 松井浩子 塚本洋子 豊島麻美 宗村文江 村岡知美

**一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
歴代表彰者一覧**

2014年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2014年9月20日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	杉田和枝	1996年～ 正会員 本学会の設立当初から学会運営に携わり、ネットワーク委員会担当理事、表彰委員会担当理事として本学会の発展に多大なる貢献をした。また、特別委員会「糖尿病重症化予防(フットケア)研修推進委員会」委員として活動し、フットケアに携わる看護師の実践モデルとして会員の知識・技術の向上に寄与した。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
	照沼則子	1997年～ 正会員 本学会の評議委員として長年本学会の発展に貢献した。特に糖尿病看護認定看護師委員会委員として教育および臨床現場の双方から認定看護師の育成に尽力し、糖尿病看護の質の向上に寄与した。また、日本糖尿病療養指導士認定機構においては、本学会からの推薦理事および認定委員会委員を務め、看護の代表としてその組織の構築に貢献した。第18回学術集会においては学術集會会長を務め、本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をした。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
フロンティア賞	住吉和子	1996年～ 正会員 本学会設立当初から評議委員として、長年本学会の発展に貢献した。ネットワーク委員会中国ブロック委員として地域の糖尿病看護の発展に寄与し、また編集委員会委員として学会活動に多大なる尽力をした。岡山県立大学認定看護師教育センターにおいては、糖尿病看護認定看護師教育課程の立ち上げから携わり、認定看護師の育成および糖尿病看護の質の向上に貢献した。 これらの活動は本学会および糖尿病看護の発展に大きく寄与した。
奨励賞	桐生史江	2003年～ 正会員 本学会の広報委員会委員として、東日本大震災後の東北地方へのインタビュー活動など災害時の糖尿病看護の発展に多大なる貢献をした。また、研修推進委員会委員として事例検討会を中心とした研修会の企画・運営に尽力した。 これらの活動は本学会の発展および今後の糖尿病看護の質の向上に大きく寄与した。
	畑中あかね	2003年～ 正会員 本学会の評議委員として本学会の発展に貢献した。特に糖尿病重症化予防(フットケア)研修会では講師を務め、会員の知識・技術の向上のために精力的に活動した。また、編集委員会委員および政策委員会委員として本学会の活動に寄与した。 これらの活動は本学会の発展および今後の糖尿病看護の質の向上に大きく寄与した。

2015年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞 表彰者 (2015年9月21日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	中村慶子	1996年～ 正会員 本学会の理事、評議委員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動では、特に研修推進委員会委員、ネットワーク委員会委員として精力的に活動し、特に地域の糖尿病看護の発展に寄与され、その功績は大きいものである。また、第9回学術集会では学術集會会長を務め、本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をした。 これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
フロンティア賞	伊波早苗	1998年～ 正会員 本学会の評議委員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動においては、ネットワーク委員会委員として地域の糖尿病看護の発展に寄与し、研究推進委員会委員、編集委員会委員として学会活動に尽力してきた。また、本学会学術集会や研修会においては、シンポジストや講師を務め、会員への学びの機会を多数提供し、糖尿病看護の質の向上に寄与した。 これらの活動は本学会および糖尿病看護の発展に大きく寄与した。
	道口佐多子	1996年～ 正会員 本学会の評議委員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動においては、ネットワーク委員会委員として全国のネットワーク委員のリーダー的存在としてその活動を牽引し、看護師教育や市民への啓発活動に尽力し、糖尿病看護の質の向上に寄与した。 これらの活動は、本学会および糖尿病看護の発展に大きく寄与した。
	藤森陽子	1996年～ 正会員 本学会の評議委員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動においては、ネットワーク委員会委員として精力的に活動し近畿ブロックの糖尿病看護の発展に貢献され、また広報委員会においても学会活動に尽力し糖尿病看護の質の向上に寄与されました。 これらの活動は、本学会および糖尿病看護の発展に大きく寄与した。

**一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
歴代表彰者一覧**

2016年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2016年9月18日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	黒江ゆり子	1996年～ 正会員 本学会の理事、評議員として長年本学会の発展に貢献してきた。委員会活動では、特に政策委員会委員長として糖尿病看護に関する診療報酬評価に向けた活動に取り組み、その活動は糖尿病看護の発展につながった。また第19回学術集会では学術集会会長を務め本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をした。これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
フロンティア賞	佐川 京子	2003年～ 正会員 本学会のネットワーク委員会委員、広報委員会委員として長年本学会の発展に貢献した。特にネットワーク委員会では中国ブロック代表として中国ブロックのネットワーク委員の連携体制を築き、中国地区糖尿病看護研究会の立ち上げに尽力した。また地域の糖尿病療養支援に携わる医療スタッフの連携を強化するため、山口県糖尿病療養指導士会を設立し地域の糖尿病看護・医療の質の向上に寄与した。
奨励賞	中尾 友美	2004年～ 正会員 本学会の研修会認定委員会委員、研修推進委員会委員として本学会の発展に貢献した。また、本学会主催・共催の「糖尿病重症化予防(フットケア)研修」においては企画やファシリテーター、講師を多数担当し、学術集会ではシンポジストを務めるなど会員への学びの機会を数多く提供し、糖尿病看護の質の向上に寄与した。

2016年 日本糖尿病教育・看護学会 表彰論文賞 (2016年9月18日)		
第15巻第1号～第19巻第2号の原著論文7本から審査		
賞の種類	巻号・受賞者指名	タイトル
研究論文部門	第15巻第2号・清水安子、他	「糖尿病セルフケア能力ツール(修正版)の信頼性・妥当性の検討」
第10巻第1号～第19巻第2号の実践報告18本から審査		
実践報告部門	第10巻第1号・柳井田恭子、他	「ケアシステム立案技術を活用した幼稚園での糖尿病一次予防教室の実践」
	第13巻第1号・米田昭子、他	「外来における糖尿病患者へのフットケア—40例の5年間の実践報告」

2017年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・奨励賞 表彰者 (2017年9月16日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	数間恵子	2002年～ 正会員 本学会の評議員・理事を長年務め、2008年からは副理事長、続いて2012年からは理事長として本学会の一般社団法人への移行期、変革期を支えその後の充実期に導びかれた功績は計り知れないものがある。また第15回学術集会では学術集会長も務め、本学会の発展及び糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をした。これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
奨励賞	藤本さとし	2000年～ 正会員 第20回の当学会学術集会において企画委員 実行委員長およびシンポジストを務め 学術集会開催時に中心的な役割を果たした。また香川県糖尿病療養指導士看護師ネットワーク「Qの会」設立当初より企画運営で長年中心的な役割を担い、この8年間は同会会長として地域の糖尿病看護の知識・技術の普及に貢献しており その活躍は高く評価できる。これらの活動は本学会の発展および今後の糖尿病看護の質の向上に大きく寄与した。
	小江奈美子	2003年～ 正会員 慢性疾患看護専門看護師として臨床において地域の糖尿病看護の発展に貢献してきた。また医療職への教育についても積極的に取り組んできており、本学会特別委員会(糖尿病透析予防支援)においても糖尿病腎症看護の豊富な経験を活かして糖尿病透析予防支援ガイドの作成や同支援質向上のための研修会講師を複数回担当し 会員への学びの機会を数多く提供して糖尿病看護の質の向上に貢献した。

2018年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2018年9月23日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	宮武陽子	2000年～ 正会員 香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークでの活動を中心として中四国での臨床における看護師の糖尿病看護実践能力を高めるための活動と基盤作りにも貢献され、また本学会の活動に長年参画され評議員 研究推進委員 学術集会実行委員 企画委員等を務められた。特に平成二十七年には第二十回学術集会会長も務められ本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をされた。これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものである。
フロンティア賞	古賀明美	2001年～ 正会員 佐賀県糖尿病コーディネーター育成事業の企画運営を中心に先行事業の推進に大きく貢献するとともに糖尿病の地域連携や糖尿病腎症重症化予防における看護の重要性を本学会政策セミナー等で広くつたえ診療報酬獲得に向けた政策委員会の活動の発展にも貢献された。また高度実践看護師教育課程における糖尿病をサブスペシャリティとする専門看護師の育成を全国に先駆けて行ってこれ、これら糖尿病看護における先駆的な活動は高く評価できるものである。その労を称え今後ますますの活躍を期待し表彰するものである。
奨励賞	楢原直美	2006年～ 正会員 長年にわたる糖尿病看護認定看護師としての活動をベースに 研修推進委員会においては糖尿病重症化予防研修フラッシュアップ研修のリーダー的役割を担い その他にもフットケア研修や高齢者糖尿病看護研修などの講師も務められ 研修推進委員会の企画・運営・評価・新委員の育成にいたるまで中心的な役割を担ってこられた。これらの活動とその労を称え 今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。

**一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
歴代表彰者一覧**

2019年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2019年9月21日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	稲垣美智子	入会年月:1996年10月 1996.10~2008.3 評議員 2012.9~2018.9 評議員および理事 2014.9~2018.9 第5代理事長(法人第7, 8期) 2008.9 第13回学術集会大会長 長きにわたり、本学会の会員、評議員、理事として本学会の活動に尽力された。第13回学術集会では、大会長として「わざの創造とエビデンスの融合」のテーマで、ご自身の経験と研究をふまえ、エビデンスに基づく新たな糖尿病看護の実践を示され、糖尿病看護を実践するスタッフの手本となっている。本学会における長年にわたる氏の活動は、本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をされた
フロンティア賞	患者教育研究会 代表者河口てる子	会員中の会員氏名:河口てる子、安酸史子、小林貴子、小平京子、東めぐみ、近藤ふさえ、伊波早苗、井上智恵、横山悦子、太田美帆、小田和美、滝口成美、大澤栄美、伊藤ひろみ、岡美千代、長谷川直人、道面千恵子、思常宏美、下田かおり(構成員23名中本学会会員数19名)。患者教育研究会は、開設当初から熟練看護師の実践に着目し、熟練看護師の実践から糖尿病患者への効果的な患者教育を帰納的に探求し、理論を構築してきており、糖尿病看護の発展に寄与した活動および成果物である「看護の教育的関わりモデル」は、フロンティア賞に値すると考えた。特に本研究会の中心的活動としては、25年前から糖尿病看護分野において熟練看護師の高度な教育的関わりを多数の事例から取り出し可視化し、理論化してきており、この理論は、糖尿病患者への患者教育において看護師の関わり方を大きく変化させ、広く実践において活用され、また実践の指標となっていると考え、本研究会の活動は、糖尿病看護の質的変換と発展に寄与した。また、本研究会は日本糖尿病教育・看護学会の創設に関わり、臨床家と研究者がともに糖尿病看護を討議・探求できる場を創り上げ、糖尿病看護の組織化にも尽力された。
奨励賞	中元美恵	入会年月:1998年12月 本学会のネットワーク委員として長年地域の糖尿病看護の発展に寄与した。(2004年ネットワーク委員会設立時~2012年) 中国ブロック看護研修会の中心的メンバーとして、立ち上げ・発展に尽力し、現在も同会の後進育成やサポートを積極的に行っている。 評議員歴8年

2020年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2020年9月19日)		
賞の種類	受賞者氏名	会員入会年月日・活動履歴
功労賞	中村伸枝	入会年月:1996年10月 2000.4~2008.3 評議員 2006.4~2020年現在 専任査読者 2019.9 第24回学術集会大会長、ほか、学術集会企画委員、実行委員を歴任 本学会の評議員・専任査読者・学術集会企画委員等を長年務めた。また、令和元年には第24回学術集会長も務め、特に小児糖尿病看護の領域における長年の実践・教育・研究活動は本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をされた。
フロンティア賞	西垣昌和	2005年~ 正会員 本学会入会以来、研究推進委員会・編集委員会および国際交流委員会委員を歴任し、継続的に本学会の糖尿病看護の質の向上にかかる活動に貢献された。また、西垣氏の研究は糖尿病予防にかかる遺伝看護関連の研究成果として糖尿病看護領域の論文に引用されるなど、糖尿病看護における先駆的な活動はフロンティア賞として高く評価できる。

2021年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2021年9月26日)		
功労賞	土屋陽子	1996年~ 正会員 本学会の評議員・理事を長年務められるとともに、岩手県をはじめ東北地方において糖尿病看護に関する研修会を多数開催するなど、本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をしてこられた。また本学会の学術集会では複数回にわたり企画委員を担うほか、令和2年にはコロナ禍において初のWEB開催となる第25回学術集会長を務められ約3400人の参加者を集客した。これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものでありその功労を称えここに表彰するものである。
フロンティア賞	中山法子	2004年~ 正会員 本学会の評議員や将来検討委員会・広報委員会・特別委員会の委員を務めるなど学会の活動に大いに貢献された。また糖尿病看護認定看護師としての実践経験を活かしたナース・プラクティショナーとしての活動を展開してきた実績に加え、地域の人々の健康増進疾病の重症化予防に貢献する実践活動をされている。この活動は従来の枠内では手を差し伸べることが難しかった人々に糖尿病看護を届ける先駆的な活動でありフロンティア賞として高く評価できるものである。その労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。
フロンティア賞	日本糖尿病教育・看護学会 第3・4期特別委員会委員	委員会委員名:青木美智子、稲垣美智子、小江奈美子、窪岡由佑子、柴山大賀、清水安子、西原晴美、平岡めぐみ、柳井田恭子、米田昭子 平成24年度診療報酬新規評価「糖尿病透析予防指導管理料」の保険収載に伴い、本学会の特別委員会の命を受け立ち上げられたワーキンググループとして「糖尿病透析予防指導管理料」の標準的研修プログラムの策定と研修を実施された。また「チーム医療における看護の役割」「糖尿病腎症期における看護のポイント」は、実践の場において、糖尿病透析予防指導に携わる多くの看護師に活用されている。これらの実績は糖尿病透析予防のための知識の普及に貢献しており、高く評価されるものでありその労を称えここに表彰するものである。
奨励賞	村内千代	2005年~ 正会員 本学会の評議員や研究推進委員会委員として、糖尿病重症化予防(フットケア)研修をはじめ、数多くのフットケア研修のファシリテーターを務め活躍されてきた。また、糖尿病看護認定看護師として、学会発表など多数あり、自己研鑽はもとより、地域社会において患者会や看護師の研修会サポートなど医療職への教育にも積極的に取り組んでこられた。これらの活動とその労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。

2021年 日本糖尿病教育・看護学会 表彰論文賞 (2021年9月26日)		
第20巻第1号~第24巻第2号の原著論文15本から審査		
賞の種類	巻号・受賞者指名	タイトル
研究論文部門	第24巻第1号・中尾友美、他	「就労している2型糖尿病患者の生活時間のマネジメントを活用した個別面接の効果」
第20巻第1号~第24巻第2号の実践報告12本から審査		
実践報告部門	第23巻第1号・山崎優介、他	「認知症のある糖尿病患者への糖尿病地域連携クリニカルパスと認知症地域連携クリニカルパス併用の取り組み」

(敬称略)

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
歴代表彰者一覧

2022年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2022年9月16日)		
功労賞	新良啓子	2004年～ 正会員 あなたは本学会の評議員を長年務められるとともに、神奈川県において糖尿病足病変看護従事者研修(フットケア研修)のほか糖尿病看護に関する研修会を多数開催するなど、本学会の発展および糖尿病看護の質の向上に多大なる貢献をしてくださいました。また、第26回学術集会では大会長を務め、ハイブリッド開催準備を進める中、COVID-19の感染拡大状況を鑑み、急遽完全にリモート開催への変更を英断され迅速な対応をとられた結果、約3700人の参加者があり盛会となりました。これら長年の糖尿病看護への貢献は高く評価されるものでありその功労を称えここに表彰するものである。
フロンティア賞	橋本祐子	2005年～ 正会員 あなたは本学会のネットワーク委員会の庶務及び関東ブロック委員、栃木県委員を長年務められるとともにネットワーク研修企画責任者として学会の活動に大いに貢献されました。また、日本糖尿病療養指導士認定機構の講習会委員として多職種への教育にも積極的に取り組んでくださいました。さらに、地域の活動では小児1型糖尿病サマーキャンプに参加し糖尿病の子どもたちを支え、疾病の重症化予防に貢献する実践活動をしてくださいました。これらの功績は高く評価されるものであり、その労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。
	西村亜希子	2011年～ 正会員 あなたは本学会の編集委員及び日本糖尿病療養指導士認定機構の編集委員として糖尿病看護関連の出版物の質の向上に貢献してくださいました。また、あなたの糖尿病教育・看護に関するエビデンスに基づく最適な実践等の研究は、国内のみならず欧州や米国の糖尿病関連学会でディスカッションテーマに採択されるとともに、多くの論文が糖尿病領域、看護学領域の国際的な主要雑誌や書籍で引用されるなど、国際的な場でエビデンスの構築に貢献されてきました。これら糖尿病看護における先駆的な活動はフロンティア賞として高く評価できるものであり、その労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。
奨励賞	石川万里子	2004年～ 正会員 あなたは本学会の評議員及び島根県ネットワーク委員として中国・四国地方の糖尿病看護の発展に寄与され、また中国地区看護研修会の中心的メンバーとして尽力してくださいました。現在も同会のサポートや後進の指導を積極的に行っておられます。また、糖尿病重症化予防(フットケア)研修においては島根県を中心として企画運営に携わり講師も務められているほか、小児1型糖尿病支援として毎年サマーキャンプに積極的に関わり看護の質の向上に尽力されています。これらの活動とその労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。
	脇 幸子	1997年～ 正会員 あなたは本学会における編集委員会専任査読委員や学術集会企画委員、糖尿病重症化予防研修への協働とともに学術集会発表や論文投稿などを通じて、糖尿病看護の質の向上にかかわる活動に貢献してくださいました。また、大分県地域における療養指導士研修会立ち上げや日本糖尿病協会豊の会、サマーキャンプへ積極的に参画され糖尿病看護発展のため活動されました。これらの活動とその労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。

(敬称略)

2023年度 日本糖尿病教育・看護学会 功労賞・フロンティア賞・奨励賞 表彰者 (2023年9月22日)		
功労賞	福井トシ子	1997年～ 正会員 本学会の評議員や理事を長きにわたり務められた。特にネットワーク委員会委員長として、研修会の標準化に取り組み現在の研修会活動の基礎を築かれた。また第16回学術集会では「糖尿病看護ネットワーク」をテーマに大会長の任を果たし、学会に大なる貢献をされた。そして糖代謝異常をもつ妊婦への実践や研究並びにCLoCMiP(助産実践能力習熟段階)レベルⅢ認証制度構築にも多年寄与され、助産師が糖代謝異常をもつ妊婦の理解を深めることにつながっている。さらに日本看護協会常任理事や会長として看護界を牽引され特に新型コロナウイルス感染症拡大においては、看護職者が安心して安全に看護にあたるよう政府や自治体と各関係機関等へ働きかけられた。これらの功績は高く評価されるものでありその功労を称えここに表彰するものである。
フロンティア賞	東めぐみ	2002年～ 正会員 長年にわたり本学会の評議員や理事そして編集委員をはじめ多くの委員会委員を務められた。また糖尿病看護における熟練看護師のケア分析の研究結果の報告のほか、学術集会や研修会等での講師も務め本学会に大なる貢献をされた。さらに関連学会での多岐にわたる糖尿病看護の実践・教育・研究並びに執筆活動を通じて看護の質向上に寄与されている。これらの功績は高く評価されるものでありその労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。
	金子貴美江	2004年～ 正会員 長年にわたり本学会のネットワーク委員会委員や評議員そして理事を務められ、災害マニュアルワーキンググループのほか複数の関連団体での委員として本学会の活動に貢献された。また関東地区で糖尿病看護を実践する看護師を支援するための会を多く主宰し、地域における糖尿病看護の質向上に大なる貢献をされている。これらの功績は高く評価されるものでありその労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。
	山根晴香	2004年～ 正会員 本学会の研修推進委員会の事例検討担当者やネットワーク委員会の島根県担当者としてリーダーシップを発揮し学会活動に貢献された。また中国・四国地域において実践・研究活動を精力的に行い関連学会等での高齢糖尿病患者に関する報告や各種研修会の講師も多数務められ、糖尿病看護の質向上に貢献された。これらの功績は高く評価されるものでありその労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。
奨励賞	村田裕子	2002年～ 正会員 本学会の学術集会への積極的な参画のほか、高齢者や糖代謝異常合併妊娠の研究等に協力された。また高島市においてICTを活用した病診・介護福祉関係機関の連携に基づく糖尿病患者地域包括支援体制の構築や福祉関係者に対する講座の実施等地域医療の発展に貢献され、思春期女性1型糖尿病患者会の立ち上げにも取り組まれました。これらの活動とその労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。
	岡佳子	2013年～ 正会員 本学会の評議員や研究推進委員会委員として活躍されてきました。本学会並びに関連学会や九州地域の研究会等において、インスリン療法を受ける糖尿病患者への療養支援に関する実践・研究報告を行いフットケア研修会の講師やファシリテーター等も精力的に務められている。これらの活動とその労を称え今後ますますの活躍を期待しここに表彰するものである。

(敬称略)